

高速道路における逆走対策状況について

2024年9月9日

関東支社 管理事業部 道路管制センター



1. これまでの取組内容
2. 逆走対策(物理的・視覚的)
3. 逆走多発を受けての啓発等について

【参考】高速道路の逆走を防ぐための対策(NEXCO東日本 HP)

1. これまでの取組内容

○2014年以降、国における「高速道路での逆走対策に関する有識者委員会」の内容も踏まえ対策を実施。

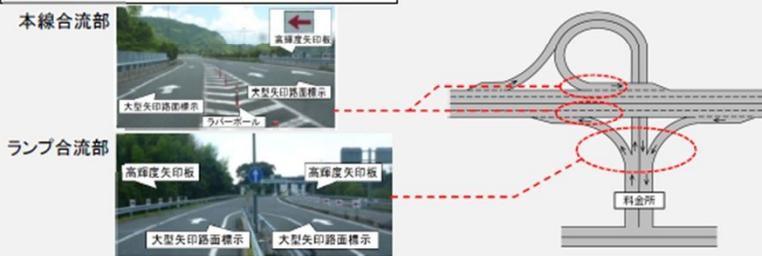
高速道路の逆走対策のこれまでの取組内容

- 高速道路の逆走対策については、2014年より対策の実施を開始
- 2015年に、高速道路での逆走対策に関する有識者委員会を設置し、幅広い見地から対策検討を開始
- 2016年に「高速道路での今後の逆走対策に関するロードマップ」を公表、2019年に「高速道路における安全・安心基本計画」を策定し、高速道路での逆走対策に関し「2029年までに逆走による重大事故ゼロ」という目標を公表し、逆走対策を推進

これまでの経緯

- 2014年 逆走対策(物理的・視覚的)について、全国統一的に実施開始
- 2015年 高速道路での逆走対策に関する有識者委員会設置
- 2016年 「高速道路での今後の逆走対策に関するロードマップ」を公表
- 2017年 逆走対策技術の公募開始
逆走対策(物理的・視覚的)のうち、分合流部・出入口部への対策について9割完了
- 2018年 逆走対策技術の選定結果公表
- 2019年 「高速道路における安全・安心基本計画」を策定
- 2023年 逆走対策(物理的・視覚的)の実施について9割以上完了

逆走対策(物理的・視覚的)の実施



逆走対策の公募技術

テーマⅠ	テーマⅡ	テーマⅢ
<p>○道路側での逆走車両への注意喚起 ・センサーとLED表示板・音・光等を用いた注意喚起 等</p> <p>○道路上の物理的・視覚的対策</p>	<p>○道路側で逆走を発見し、その情報を収集する技術 ・路側カメラ、3Dレーザーセンサー等の路側機器・路側センサーの活用 ・道路管制センターとの連動 等</p>	<p>○車載機器による逆走車両への注意喚起 ・カーナビにより、ドライバーに対し警告 等</p> <p>○自動車側で逆走を発見し、その情報を収集する技術</p>

高速道路における安全・安心基本計画(2019年9月策定)

3. 高速道路の安全性、信頼性や使いやすさを向上する具体施策
 - (3) 世界一安全な高速道路の実現
 - 2) 逆走対策
 - 目標: 2029年までに逆走による重大事故ゼロ
 - ・分合流部・出入口部では対策が概ね完了したこと等により、2016年からの2箇所逆走事故は約4割減少。
 - ・更に事故件数の減少を図るため、逆走による重大事故が発生しやすい箇所を絞り込み、集中的な対策を実施。
 - ・対策が遅れている一般道からの誤進入対策を推進。
 - ・新技術等を活用し、自動車メーカーと連携し、逆走車への警告、順走者への注意喚起等の取組を加速

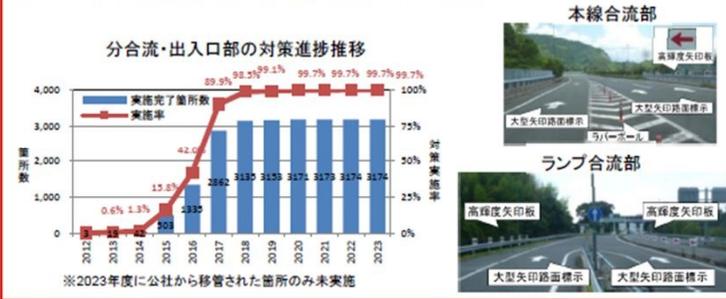
2. 逆走対策（物理的・視覚的）

○逆走対策（物理的・視覚的）の実施について、栃木県内の対策は完了済み

（参考）逆走対策（物理的・視覚的）の実施

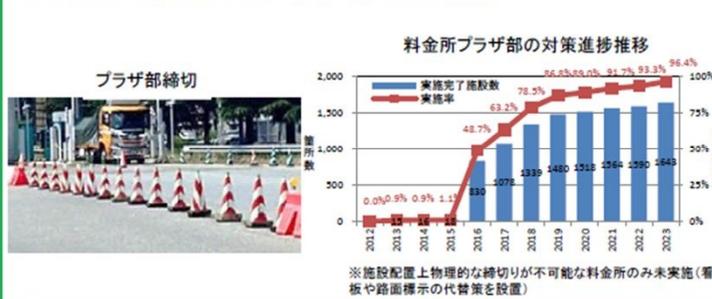
（1）分合流部・出入口部への対策

- 高速道路会社管理区間の全てのIC・JCT・SAPA(3,182箇所)を対象に、大型矢印路面標示やラバーポール等の物理的・視覚的な対策を実施
- 2017年に9割完了、2023年末時点で99.7%完了



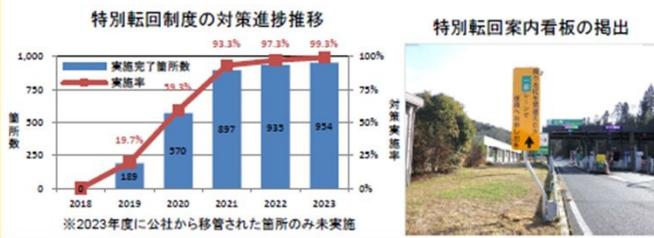
（2）料金所プラザ部への対策

- 高速道路会社管理区間の全ての料金所(1,705箇所)を対象に、プラザ部の締切り対策を推進
- 2020年に9割完了、2023年末時点で96.4%完了



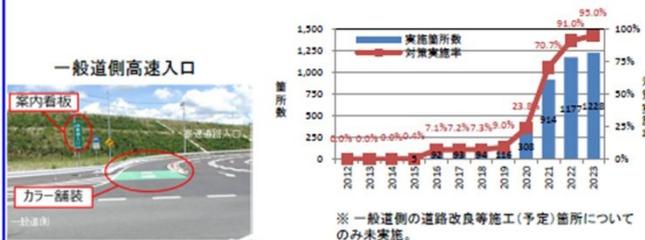
（4）特別転回制度の案内強化対策

- 高速道路会社管理区間※の構造上対応可能な全てのIC(961箇所)を対象に、特別転回の案内掲出を実施
- 2021年に9割完了、2023年末時点で99.3%完了



（3）高速道路と一般道との接続部への対策

- 高速道路会社管理区間のうち一般道と接続する全ての箇所(1,293箇所)を対象に、一般道側に高速入路を案内する注意喚起看板やカラー舗装等の対策を実施
- 2022年に9割完了、2023年末時点で95.0%完了



データ：2023年12月時点での高速道路(高速道路会社管理)における対策実施状況 7

2. 逆走対策（物理的・視覚的）

（1）分合流部・出入口部の対策

- ・管理区間の全てのIC・JCT・SAPAを対象に、大型矢印路面標示やラバーポール等の物理的・視覚的な対策を実施
- ・栃木県内ではR5年度までに全24箇所対策完了済み

＜栃木県内実施箇所一覧（全24箇所）＞

道路名	名称	区分
東北道	佐野藤岡	IC
東北道	栃木	IC
東北道	鹿沼	IC
東北道	宇都宮	IC
東北道	矢板	IC
東北道	西那須野塩原	IC
東北道	黒磯板室	IC
東北道	那須	IC
北関東道	足利	IC
北関東道	佐野田沼	IC
北関東道	都賀	IC
北関東道	壬生	IC
北関東道	宇都宮上三川	IC
北関東道	真岡	IC
東北道・北関東道	岩舟	JCT
東北道・北関東道	栃木都賀	JCT
東北道	佐野SA	SAPA
東北道	都賀西方PA	SAPA
東北道	大谷PA	SAPA
東北道	上河内S A	SAPA
東北道	矢板北P A	SAPA
東北道	那須高原S A	SAPA
北関東道	出流原P A	SAPA
北関東道	壬生P A	SAPA



大型矢印路面標示、ラバーポール、矢印板

2. 逆走対策（物理的・視覚的）

（2）料金所プラザ部への対策

- ・管理区間全ての料金所を対象に、プラザ部の締め切り対策を推進
- ・栃木県内ではH30年度までに全14箇所対策済み

＜栃木県内実施箇所一覧（全14箇所）＞

道路名	料金所名	項目
東北道	佐野藤岡	料金所
東北道	栃木	料金所
東北道	鹿沼	料金所
東北道	宇都宮	料金所
東北道	矢板	料金所
東北道	西那須野塩原	料金所
東北道	黒磯板室	料金所
東北道	那須	料金所
北関東道	足利	料金所
北関東道	佐野田沼	料金所
北関東道	都賀	料金所
北関東道	壬生	料金所
北関東道	宇都宮上三川	料金所
北関東道	真岡	料金所



料金所前後のプラザ締め切り

※料金所外側プラザは物理的締め切りが不可能なため横断不可の看板を設置

2. 逆走対策（物理的・視覚的）

（3）高速道路と一般道との接続部への対策

- ・一般道と接続する全ての箇所を対象に、一般道側に高速入路を案内する注意喚起看板やカラー舗装等の対策を実施
- ・栃木県内ではR5年度までに全14箇所対策完了

＜栃木県内実施箇所一覧（全14箇所）＞

道路名	施設名	区分
東北道	佐野藤岡	IC
東北道	栃木	IC
東北道	鹿沼	IC
東北道	宇都宮	IC
東北道	矢板	IC
東北道	西那須野塩原	IC
東北道	黒磯板室	IC
東北道	那須	IC
北関東道	足利	IC
北関東道	佐野田沼	IC
北関東道	都賀	IC
北関東道	壬生	IC
北関東道	宇都宮上三川	IC
北関東道	真岡	IC

※SICは開通時に整備済



高速道路入口看板、入口カラー舗装



進入禁止看板



入口カラー舗装

2. 逆走対策（物理的・視覚的）

（4）特別転回制度の案内強化対策

- ・管理区間における構造上対応可能な全てのICを対象に、特別転回の案内掲出を実施
- ・栃木県内ではR1年度までに15箇所対策済み

＜栃木県内実施箇所一覧(全15箇所)＞

道路名	施設名	区分
東北道	佐野藤岡	IC
東北道	栃木	IC
東北道	鹿沼	IC
東北道	宇都宮	IC
東北道	矢板	IC
東北道	西那須野塩原	IC
東北道	黒磯板室	IC
東北道	那須	IC
北関東道	足利	IC
北関東道	佐野田沼	IC
北関東道	都賀	IC
北関東道	壬生	IC
北関東道	宇都宮上三川	IC
北関東道	真岡	IC
東北道	岩舟	JCT



降りるICを間違えた方
一般レーンで
係員へお申し出を



進行方向を間違えたら
次のICでお申し出を

特別転回案内標識

※転回可能なすべてのICおよび誤流出の実績が多いIC・JCTの本線部

3. 逆走多発を受けての啓発等について



1. 実施時期

令和6年8月19日(月)～9月まで(※終了時期未定)

2. 実施内容

No.	項目	実施内容
①	情報板	逆走車に遭遇した際に身を守る啓発とサンデードライバーへ向けて、逆走をしないように啓発
②	SNS	支社：X 「無くそう逆走」Webサイトや逆走動画をポスト 本社：LINE 「無くそう逆走」のWebサイトを配信
③	ドラとら	本社：サイト上段に、啓発内容をテロップで表示
④	ラジオ	9月中 TBSラジオ、NACK5、信越放送
⑤	デジサイ	支社：「無くそう逆走」ポスター掲載 本社：逆走啓発動画を掲載
⑥	チラシ	ETCコーポレートカード請求書に逆走注意喚起チラシ同封
⑦	その他	宇都宮事務所：「無くそう逆走」パンフデータを管内SAPAに掲示 栃木県警高速隊：高速隊作成チラシ管内SAで配布と設置

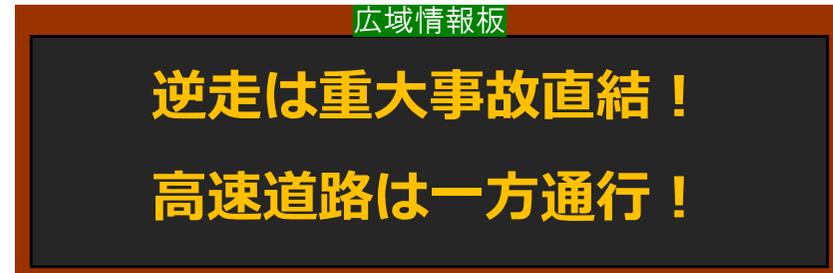
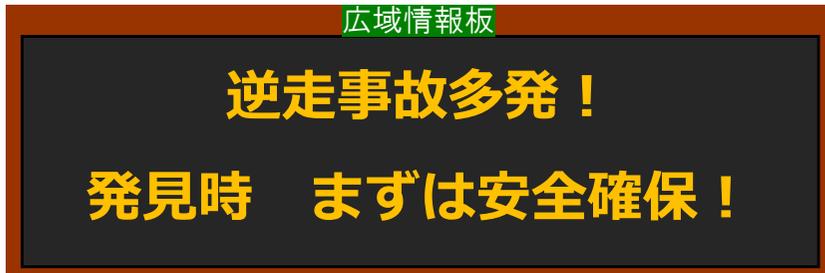
3. 逆走多発を受けての啓発等について



① 情報板 平日と土日祝日版【支社】

平日: 逆走車に遭遇した際に身を守る

土日祝: サンデードライバーへ向けて
逆走をしないよう啓発



② SNS X【支社】と LINE【本社】で配信



※巡回車ドラレコ映像



3. 逆走多発を受けての啓発等について



③ ドラとら【本社】

テロップ内容 逆走事故多発中！
逆走情報を見聞きしたら速度を落とし、
十分な車間距離をとって前方車両の
動向を注視しましょう。



④ ラジオ【支社】

9月1日～29日 TBSラジオ(6回)、
NACK5(6回)、信越放送(5回)
60秒CM生読みにて放送

ここで、NEXCO東日本からドライバーの皆様へ
「無くそう 逆走」に関するお知らせです。
高速道路上では、逆走車による重大事故が発生しています。
逆走事故で命を落とす確率は、高速道路の事故全体に比べ、およそ15倍にも及びます。
逆走車は追い越し車線を走行してくる傾向があります。
逆走車を前方に発見したら、衝突を避けるよう、注意して走行してください。
そして、同乗者からの110番か、最寄りのサービスエリア等の非常電話からの通報、
もしくは料金所スタッフへのお申し出をお願いします。
逆走車の通報を受けた際は、速やかに情報板やハイウェイラジオでお知らせします。
これからも安全運転をお願いします。
無くそう逆走。
NEXCO東日本からののお知らせでした。

3. 逆走多発を受けての啓発等について



⑤ デジサイ【支社・本社】

支社: 関東支社管内SAPA(静止)

本社: NEXCO東日本全体(動画)



⑥ ETCコーポレートカード請求書に注意喚起チラシ同封【支社】



3. 逆走多発を受けての啓発等について

⑦ 宇都宮(管)と栃木県警高速隊 8月16日～20日実施

宇都宮管内SAPAにポスター掲示



栃木県警高速隊 チラシ配布と設置

死亡事故発生

令和6年8月15日(木)午前6時30分頃、栃木県那須塩原市横林地内の東北自動車道で、普通乗用車が逆走してきた軽自動車と正面衝突する交通事故が発生し、運転していた方2人が亡くなりました。

高速道路を安全に利用するために

- 安全な運転を心掛ける
 - ・心と時間にゆとりを持った運転を！(十分な休憩を)
 - ・法定速度を厳守する！
 - ・車間距離を十分に保ち、急な車線変更をしない！
(時速100キロ → 車間距離100メートル)
 - ・夜間はハイビームとロービームを上手く使い分ける！
- 事故が起きてしまったら
 - ・非常電話、110番等で通報する！
 - ・発炎筒、三角停止表示板等を後方に設置する！
 - ・安全な場所へ避難する！
- 逆走車両を見かけたら
 - ・110番で通報する！

悲惨な交通事故をなくそう！

栃木県高速道路交通警察隊



【参考】高速道路の逆走を防ぐための対策（NEXCO東日本 HP）

NEXCO

高速道路の逆走を防ぐための対策

コーポレートトップ > 事業案内 > 無くそう逆走 - 高速道路は一方通行です - > 高速道路の逆走を防ぐための対策

④ 無くそう逆走トップページへ戻る

逆走を防ぐために、多様な逆走対策を実施しています

逆走を防止するため、高速道路上でさまざまな取り組みを行っています。例えば、高速道路の路面等に矢印を表示し、車両の進行方向を示すことで、逆走を防止しています。



路面に矢印を表示

サービスエリアや料金所から高速道路本線へと合流するときに、行き先を間違えて誤った方向へ進むことがないように、合流部分にラバーポールを設置しています。



ラバーポールで逆走を防止

また、料金所通過後に誤って対向車線へ進入することを防ぐため、料金所プラザ部※の締切対策を実施しています。

（管理上締切が困難な料金所に対しては、看板や路面標示を設置しています。）

※料金所前後から分合流部までの箇所。



締切対策や注意喚起看板の設置

逆走をしてしまいそうな車両へ注意を呼び掛ける標識も設置しています。反対方向に進もうとしているドライバーに「こちらへは進めません」と知らせることで、逆走を未然に防ぎます。

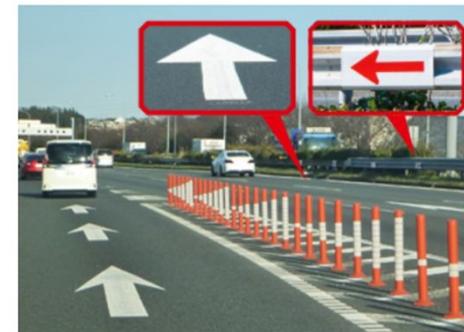
また、逆走車を感知したときにだけ発光し、「逆走戻れ」のように警告を表示して、逆走していることに気付かせる表示板もあります。



逆走防止装置と逆走防止標識

〈逆走を防止するための取り組み〉

－ (1) 大型矢印路面標示、ラバーポール、高輝度矢印板、矢印路面標示で進行方向を案内



大型矢印路面標示、ラバーポール、高輝度矢印板
（高速道路本線合流部）



矢印路面標示・出口案内（休憩施設）

－ (2) 注意喚起看板、進入禁止看板、矢印路面標示で注意喚起



注意喚起看板（休憩施設流入部）



矢印路面標示、
注意喚起看板（インターチェンジ出口）

〈進行方向確認を！〉

進んではいけないことを示す標識や看板、進行方向を示す矢印を確認し、正しい方向へ進みましょう。
本線との合流部にはラバーポールを設置し、方向転換を防ぐ対策を行っています。